

これからの介護・福祉の仕事を考える デザインスクールとは？

「これからの介護・福祉の仕事を考えるデザインスクール」は、介護・福祉人材の確保や介護・福祉に対するイメージの向上を目的として全国8ブロックで開催しているワークショップ形式のスクールです。介護・福祉の現場で働く人をはじめとして、クリエイターや学生、その他多様な立場の参加者が混ざり合って「これから」について考えてきました。インターンシップで今の「現場」を体験し、未来の理想の生き方や働く場のあり方を想像し、これからできるアイデアを「デザイン思考」のプロセスや考え方を学びながら企画にしてきました。そして、企画の実現に向けてより深く対話し、行動へとつなげています。2018年8月からスタートし、スクール生約450名が考えてきたアイデアは70種類。関西ブロックでは、全国でも最も多い80名が参加し9つの取り組みを生み出しました。2月に関西ブロックでのお披露目会「デザインスクールエキシビジョン」を開催した後は、全国で誕生した70種類のプロジェクトを一同に集めたフェスティバルを東京で開催します。



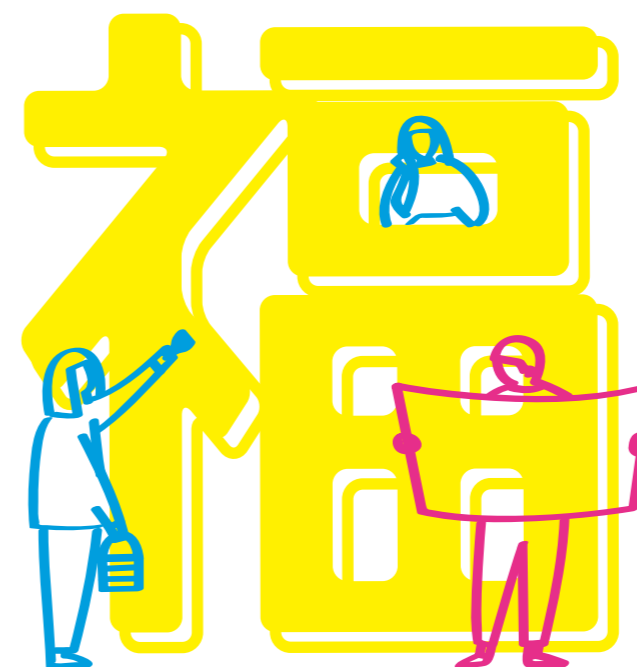
「できる」がてんこもり 縁活とは？

「縁活」は、百貨店を“街のような場”にするあべのハルカス近鉄本店の取り組みです。これまでは買い物をする場だった百貨店を、ひと・もの・ことが集まって、気軽に学び、出会う場所となるように、市民活動団体やボランティア・地域の方々・百貨店、そしてお客さまも一緒になって、日々の暮らしや社会をちょっと良よくする活動ができる“街のような場”づくりをしています。2013年6月13日の「あべのハルカス近鉄本店タワー館」オープンと同時に、本格的な活動が始まった国内百貨店初のチャレンジプログラム。現在およそ300の市民活動団体と、およそ150名のボランティアが集まり、あべのハルカス近鉄本店の街ステーションを中心に、活動しています。その活動内容を通じ、参加される方々同士の新しい繋がりが生まれ、今までできなかったような新しい取り組みへのチャレンジが始まっています。あべのハルカス「街ステーション」から、阿倍野・天王寺地域全体に新しい賑わいが生み出されるような取り組みを目指しています。



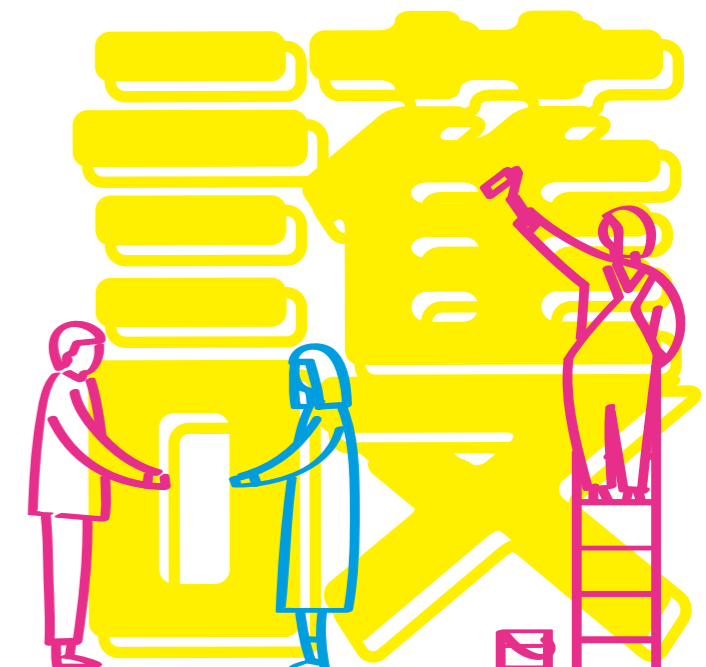
- 交通のご案内
あべのハルカス近鉄本店
〒545-8545 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
- 最寄駅
 ▶ 近鉄南大阪線 大阪阿部野橋駅
 ▶ JR天王寺駅
 ▶ 地下鉄谷町線、御堂筋線 天王寺駅
 ▶ 阪堺上町線 天王寺駅前駅

主催 株式会社studio-L 平成30年度厚生労働省補助事業 問合せ先 kaigo_ks@studio-l.org



in 関西

申込不要
入場無料



これからの
介護・福祉の仕事を考える

デザイン
スクール
エキシビジョン

介護・福祉の現場は可能性の宝庫！介護・福祉の業界で働く人、大学生、クリエイター、様々な立場の人たちが集まって考えてきた、これからの仕事や未来をもっと面白くするアイデアをお披露目します。未来を生きる全ての人に届けたいデザインスクールエキシビジョン、開催します！

2019 10:00~18:00
2月24日(日)

会場
あべのハルカス近鉄本店
5・7・8階 街ステーション/17階ホール

これからの
介護・福祉の仕事を考える

デザイン スクール エキシビジョン

これからの介護・福祉の仕事を考える
デザインスクールエキシビジョン

in
関西

「これからの介護・福祉の仕事を考えるデザインスクール」の関西ブロックで生み出された9つのプロジェクトを、多彩なゲストを交えたトークイベントや展示プログラム、体験プログラムなど、様々なカタチでお披露目するエキシビジョンを開催します。舞台は百貨店。楽しくて、社会や地域をちょっと良くする取り組みを市民活動団体、ボランティア、地域、百貨店が一緒になって展開する「縁活」プロジェクトとコラボレーション企画です。あべのハルカス近鉄本店のあちこちで、介護・福祉にちなんだプログラムが展開されるスペシャルな一日。介護・福祉の「これから」を楽しみながら考えましょう。

エキシビジョンプログラム

関西ブロックに参加した約80名のスクール生が9つのテーマに分かれて作りあげた、これまでの介護・福祉の常識にとらわれない「これから」を展示や体験、トークプログラムなどを通してお披露目します。

17階ホール

トークプログラム「人生100年時代の暮らしを語ろう」

人生100年時代のこれからの「暮らし」について、「衣」「食」「住」をテーマに語り合います。



介護・福祉の情報ブース

介護・福祉の取り組みを紹介するさまざまな展示ブースがハルカスに集合します。



7階街ステーション

展示プログラム「これからプロジェクト展」

関西ブロックのスクール生が作りあげた9つのプロジェクトを展示でご紹介します。



GOOD JOB STOREのPOP UP SHOP

障害のある人が関わりうまれているアートグッズや雑貨など、全国の商品をセレクトして販売しているGood Job!センター香芝(GOOD JOB STORE)からPOP UP SHOPがやってきます。デジタル工作機と手仕事を組み合わせたワークショップも行います。



8階・5階 街ステーション / 7階 森の広場

体験プログラム

「これからプログラム×縁活」

デザインスクールで生み出されたプロジェクトを縁活プログラムとして体験できます。

Special

介護・福祉に関連した活動をされている縁活活動団体のプログラムも開催します。

日頃の縁活
ワークショップ
いろいろ

あべのハルカス
近鉄本店で日頃から
開催されている
さまざまなプログラム

コーヒー
スタンドも
やってきます!

障害の有無を超えて街の中を楽しむを生み出したい団体暮らしランブの旅するコーヒー屋台「3yatai」が自家焙煎豆と共にやってきます。

展示プログラム「これからプロジェクト展」 会場 ▶ 7階 街ステーション



関西ブロックから生まれた9つのプロジェクト 10:00-18:00

<p>介護・福祉の楽しさを伝えるアイデア</p> <p>Tシャツを通じて世代を超えて語り合う 少年少女「Modan BOY & Girl」</p> <p>ささやかな自由をかなえるアイデア</p> <p>わがままちゃうねん!ささいな自由を かなえるメニューのあるカフェ</p> <p>楽しく働くためのアイデア</p> <p>とにかく見た目にこだわる! オシャレ福祉</p>	<p>声にならない想いに寄り添うアイデア</p> <p>楽しさでプロ視点に+αを 「ななめがねプロジェクト」</p> <p>農を通じて世代をつなげるアイデア</p> <p>アップルミントで繋がる 多世代が集う場づくり</p> <p>地域で最期まで生きるためのアイデア</p> <p>死ぬまで働く! 名刺をもって地域でPR</p>	<p>地域とつながるアイデア</p> <p>「ウワサ」は地域と施設の潤滑油! 「うわさ郵便局」知らんけど!</p> <p>お互いに助け合えるアイデア</p> <p>失敗から見つける隠れた困りごと 「misstter(ミスったー)」</p> <p>仕事が楽しくなるアイデア</p> <p>個性を認め合い楽しく働くための 一芸テーマパーク</p>
---	--	---

*提案内容は変更する場合があります *プログラムによって参加費が生じる場合があります

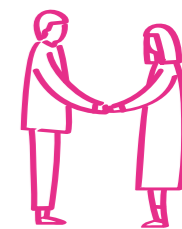
トークプログラム「人生100年時代の暮らしを語ろう!」 会場 ▶ 17階ホール

特別トークプログラムとして多彩なゲストをお招きし、コミュニティデザイナー山崎がモデレーターとなり、人生100年時代のこれからの「暮らし」について語り合います。そして、そんな「暮らし」の視点から、デザインスクールで生み出されたアイデアの更なる可能性を探ります。



モデレーター
山崎 亮
やまざき りょう

studio-L代表。東北芸術工科大学客員教授(コミュニティデザイン学科)。慶応義塾大学特別招聘教授。1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。



11:00-12:30

「衣」をテーマに暮らしを語る



にしお よしなり
西尾 美也

2011年東京藝術大学大学院博士後期課程修了。文化庁芸術家在外研修員(ケニア共和国ナイロビ)などを経て、現在、奈良県立大学地域創造学部准教授。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目し、市民や学生との協働によるプロジェクトを国内外で展開。ファッションブランド「FORM ON WORDS」と「NISHINARI YOSHIO」も手がける。奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」ではプログラム・ディレクターを務めている。

13:30-15:00

「食」をテーマに暮らしを語る



三浦 雅之
みうら まさゆき

1998年より奈良市近郊の中山間地である清澄の里をメインフィールドに在来作物の調査研究、栽培保存に取り組み、大和伝統野菜を中心に年間約120種類の野菜とハーブを栽培。2002年に大和伝統野菜を食材とした農家レストラン清澄の里「粟」、2009年には奈良町に粟ならまち店をオープン。2015年5月より奈良の魅力発信を行う「coto coto」を運営。また、六次産業によるソーシャルビジネス「Project粟」を展開している。

15:30-17:00

「住」をテーマに暮らしを語る



松場 登美
まつば とみ

1981年、夫(松場大吉)のふるさと島根県大田市大森町に帰郷、夫の実家・松場呉服屋の片隅で、布小物の製造、販売を始める。1989年、築150年の古民家を修復し、店舗をオープン。1998年、株式会社石見銀山生活文化研究所を設立。「群言堂」として商品の企画、製造販売を手がけ、全国の百貨店などで展開している。現在は修復した武家屋敷「他郷阿部家」で古き良き時代の良さを大切に、新しい価値観を提案する暮らしの場として、宿の営業も行う。